

杉村病院発  
地域広報誌

No.6

第6号

# 出合い in 杉村病院

## 在宅医療に向けて 地域医療への取り組み

杉村病院  
院長 吉村 龍太



きことは、患者様及び介護を必要とする高齢者の方々に対して、私たちに何が出来るか？患者様、利用者が望まれることは何か？というこの一点に尽きると思います。

平成十九年度もスタートしてひと月が経ちました。新年度のスタートにあたり、今年度の杉村病院がどのような点に重点を置いて、医療及び介護サービスを提供して行こうとしているのかについてお話しさせていただきます。今、日本の医療は大きな転換期を迎えています。これは、これまで二年ごとに行われてきた単なる診療報酬の改定とか、医療費の自己負担の改定とは全く違うものであり、医療の供給体制そのものを根本から再構築しようとするものです。その改革については様々な批判がありますが、在宅療養・介護に向けて日本が大きく舵を切ったことは間違いありませんし、この大きな流れは変えられないでしょう。その是非を議論することも必要なことですが、今私たちが考えるべ

ご家族の負担・急変時の医療の不安等困難な問題が伴う在宅での療養生活を実現するためには何が必要でしょうか？基本的には、医療・介護・見守り、この三つが柱となるでしょう。医療法人杉村会の場合、二十四時間対応という観点から見れば、医療は可能、介護は昼間と夜間十時くらいまで、見守りは？というところでしょうか。実際これらを一つの法人で全てカバーするのは、なかなか難しいと思います。他の医療機関・診療所、二十四時間訪問介護事業所や通所介護及び様々な居宅介護サービス事業者、地域包括支援センター、警備会社等の通報システム、民生委員を含む地域の方々、見守り機能を持った高齢者用住宅等々、様々な社会資源との連携が必

要になります。

在宅での療養・介護を可能にするためには、病院や施設内でのそれと比べ、私たち医療従事者にも様々な配慮・工夫が求められます。負担も心配も大きくなるかもしれませんが、ただ、高齢者の方々が（全てとは言いませんが）心の中ではそれを望んでいらっしゃるという事は事実なのです。可能な限りそれをお手伝えたいと思います。そのためには、私自身が先頭に立って、患者様、利用者の皆様のご自宅を訪問し、診療とご相談をお受けいたしました。また、現在ご入院中の患者様についても、在宅療養の可能性を検討・提案し、さらにご自宅での療養生活をフォローしてゆきます。杉村会では、今年一月には認知症対応型通所介護事業所をスタートさせ、また六月にはグループホームの開設も予定しています。既存の居宅系事業所も合わせれば、かなりの在宅療養・介護支援が可能です。これら杉村会グループの事業所を機能的に連携させ、フル活用し、また、当法人に持ち合わ

せない機能は、他の医療機関・施設・事業所と連携して、在宅療養を推進してゆきます。平成十九年度は、他にも様々なことに取り組んでいかなければならない年ですが、その中で、大きな柱の一つが今日お話ししたことです。キーワードは「在宅」と「連携」です。職員の皆さん、御協力宜しくお願いたします。



### RKK女子駅伝に 今年も2チーム出場

二月十一日に行われたRKK女子駅伝に、杉村病院から今年も2チーム出場しました。練習不足の人も、大会本番は必死で頑張りましたよ。何とかタスキが繋がって良かったです。ラッキーな事に、Aチーム一六位が、スポンサー会社の創立百十六年と重なり、特別賞を頂きました。賞品は緑色のライオンぬいぐるみ。可愛いね、と皆大喜びでした。来年は一一七位か一〇〇位以内を目指し、練習します！



# よろしくお願ひします!

## 新入職員紹介

平成十八年十二月十八日  
以降に入られた職員の方  
の紹介です。

**田代 まゆみさん**  
看護師



カスタネット管理者

認知症  
対応型  
の難し  
さの中  
にも利  
用者様  
の笑顔  
を励みに  
頑張っ  
ています。

**山本 清隆さん**

生活相談員  
カスタネット勤務



認知症  
介護対  
応の難  
しさを  
日々感  
じつつ、  
利用者  
様の日  
々の変  
化の中  
に心通  
い合う  
気持ち  
を大切  
にして  
いきたく  
思います。

**坂本 奈穂さん**  
社会福祉士

カスタネット勤務



利用者様と接  
する中で認知  
症介護の難し  
さを感じてい  
ます。利用者  
様に穏やかに  
過ごしていただ  
ける様、努めて  
います。

**小川 彩希さん**

介護職員  
カスタネット勤務



福祉の仕事は  
初めての為、  
認知症介護の  
難しさを感じ  
ていますが、  
日々新鮮な気  
持ちで介護に  
当たっていき  
たいと思いま  
す。

**緒方 幸子さん**

看護師 3病棟勤務



四十九歳の  
新人です。《  
いつも笑顔で  
元気がモット  
ーです。それ  
と、仕事が趣  
味の私です。  
よろしくお願  
ひします。》

**生松 佳代さん**

看護師 6病棟勤務



三月から6病  
棟に勤務して  
おります。病  
棟のスタッフ  
ともすぐに打  
ち解け、楽し  
く仕事をさせ  
て頂いていま  
す。今後もよ  
ろしくお願ひ  
します。

**百原 孝弘さん**

介護職員 3病棟勤務



三月からお世  
話になってま  
す。一日も早  
く仕事を覚え  
て、職場にも  
慣れるよう頑  
張りたと思い  
ます。

**上野 友里衣さん**

受付勤務



人と接する仕  
事につきたい  
と思い、この  
仕事を選びま  
した。最近は  
前に比べ患者  
様のお顔も覚  
え、会話も増  
え、毎日楽し  
く仕事をす  
る事ができて  
います。まだ  
まだ不慣れで  
ご迷惑をおか  
けすると思いま  
すが、一生懸命  
頑張ります  
ので、よろし  
くお願ひ致し  
ます。

## 太陽セラランド株式会社

お世話になってます



「迅速に対応、相談に乗ってもらって助かっ  
てます」と看護部長イチオシの太陽セラランド株  
式会社をご紹介します。

太陽セラランド株式会社の本社は、福岡県田川  
市、本部は福岡市にあります。医師の経歴を持  
つ社長の視点で捉えた褥そう(床ずれ)予防の  
体圧分散マットレス(エアマット)のレンタ  
ル、環境問題に即した商品やサービスにも取り  
組んでいて、病院・医院・施設などのリネンサ  
プライ事業とシルバーサービス事業を主に展開  
している企業です。

《地域に根差し、利用者が快適で心地よい生  
活を送るためのサポートができるように、安心  
・安全・清潔をモットーに真心のこもったサー  
ビスをお届け致します》が会社の方針。

「杉村病院では、患者様の私物洗濯、オムツ  
類、床灯台付テレビ、エアマットのリースなど  
でお世話になっております。また、褥そうの勉強  
会を年一回行っています」

会社で広報を担当  
し「患者様がより快  
適に入院生活を送ら  
れるよう、私たちも  
サポートできればと  
思っております」と  
語る営業の藪田恵さ  
んのハツラツとした  
笑顔が印象的です。



# 受付 & 事務で！す

## スタッフ紹介

(私の大切なもの)



岡田 恭太 (経理)

私が大切にしているもの、それは故郷・天草の海です。やさしさと厳しさの全てを持ち備える大きな海の器は、生きていく上で人間に必要な心です。自分を見つめなおす機会を与えてくれます。そんな天草の海をいつまでも子供達に残していけたらという思いで、大切にしています。

古家、睦 (医療ソーシャルワーカー)



《患者様の笑顔》を大切に毎日仕事を頑張っています。最近医療制度が変わり患者様にとって苦難の時代になっておりますが、患者様やご家族の方が安心して過ごしていただけるように、微力ながら力を尽くしていきたいと思っております。



森岡 喜久子 (受付)

八年前筋萎縮性側索硬化症で逝った恩師をひと月でも長く生きて欲しいと願った六人の仲間がいる。見舞う度に私達の絆は深まった。あれからとうに師の年を越えてしまった。師によって深く結ばれた友情、そして師との思い出、これが一番私の大切なものです。

中畑 裕紀子 (受付)



私が大切にしていることは《一人過ごす時間》です。育児や仕事に追われるなか、心にゆとりがないなど感じたら、家族より少し早目に起きて、好きな本や音楽を聴いてリフレッシュしています。

小出 優美 (受付)



一番私が大切にしているものは、「健康である身体」です。基本的な事なのですが、仕事に励んだり大好きな旅行に行く為には必要不可欠だと思います。その為心掛けている事は、体を動かしたり野菜中心の食生活、そしてストレスをためないようになっています。



上野 友里衣 (受付)

学校も卒業し、友達とかなか会う事ができなくなつたので、今は休日の日にドライブや買物に行く友達との時間が大切なものになっています。

大川内 万理 (事務)



休日には映画を観て、現実逃避をする事が大切なリフレッシュの時間です。



河本 律子 (事務)

休日に息子と白川の河川敷でキャッチボールをして過ごす事が、今一番大切な時間です。五月には福岡ドームと一緒にソフトバンクの試合を見に行く予定です。

高宮 ゆかり (事務)



今、私の大切にしている時間は、月に一、二回実家に帰りのんびりとした時間を過ごすことです。

## 新内視鏡システムの導入

杉村病院 外科消化器科 藤田 博 医師

四月二十三日より、当院では最新式のハイビジョン内視鏡システムを導入いたしました。

この新内視鏡システムにより、画像の鮮明さと操作性が大きく向上しました。画像は従来のもものと比較して、走査線数・水平方向画素数が大幅に増加したため、微細な血管や粘膜の表層構造までリアルに観察する事ができます。粘膜のわずかな色彩の変化を強調させた、静止画や動画の電子的拡大も可能となっています。また、スコープの太さもこれまでより細くなりました。大腸スコープは硬度を変えることができるため、挿入に関わる患者様の苦痛を軽減し、挿入操作性が良くなります。



これらの新機能は、内視鏡の診断精度を増し、検査時間の短縮により患者様の負担軽減に大きく役立つものです。

保存とフアイリング、およびレポートの管理が効率的かつ大量にできます。保存された画像をいつでも引き出し、プリントして患者様御本人にお持ちいただくこともできます。個人情報保護に関わるセキュリティも強化されます。

さらに、病院内情報管理のIT化に対応するため、内視鏡専用の電子カルテを併せて導入しました。

電子カルテ化により、これまでの保存が容易でなかった画増の画像が、今後は、内視鏡検査を受けてみられる方が、是非、気軽に新



# 睡眠時無呼吸症候群(SAS)とは？

睡眠障害の一つで、気道の閉塞などが原因で、血液中と脳で酸素量が減少し、二酸化炭素量が増加する病状です。10秒以上の無呼吸が一晩に30回以上、もしくは1時間に5回以上認められるものを『睡眠時無呼吸症候群』と言います。

睡眠が浅くなる為、昼間運転中などに突然強い眠気に襲われて事故を起こしたり、ストレスが溜まって血圧が上がったり、記憶力が低下したり、頭が重く感じたりと身体に様々な機能障害(高血圧、不整脈、心筋梗塞など)を引き起こす原因になると言われています。

まず、検査で症状を正しく認識し、無呼吸の要因を把握し、早期治療・対策を行うことが重要です。杉村病院では、熊本県内で先駆けて最新機器ポリグラフシステムを導入し、万全の体制で早期発見・治療に取り組んでいます。

右のチェックリストと眠気テストで自己診断をしてみてください。その結果『睡眠時無呼吸症候群』ではないか？との疑いをもたれた方は、お気軽に当院外来にご相談下さい。担当医は、宮野滋先生です。



## あなたは大丈夫？

### 睡眠時無呼吸チェックリスト

- ・睡眠時大きないびきをかく はい・いいえ
- ・朝起きた際、頭痛がする はい・いいえ
- ・熟睡感がなく、体がだるい はい・いいえ
- ・日中どうしても眠たい はい・いいえ
- ・肥満の傾向がある はい・いいえ

“はい”が2つ以上該当の方は睡眠時無呼吸症候群の可能性が強いため検査をお勧めします。

### 眠気テスト

- 1、決して眠くならない…0点
  - 2、時々眠くなる…1点
  - 3、1と4の中間…2点
  - 4、眠くなることが多い…3点
- ①座って読書をしているとき  
②テレビを見ているとき  
③劇場や会議などで座って何もしていないとき  
④1時間続けて車に乗せてもらっているとき  
⑤状況が許せば、午後横になって休息しているとき  
⑥座って誰かと話をしているとき  
⑦昼食後、お酒を飲まずに静かに座っているとき  
⑧自分で運転中に交通渋滞で2～3分とまっているとき
- 合計 11点以上が要注意です。

多量に加工されているものが多いです。加齢やストレスで

腸は、免疫を受け持つ最大の臓器です。腸内には、乳酸菌、ビフィズス菌など有用な働きをする有益菌(いわゆる善玉菌)と腐敗物質や食中毒を起こさせ有害菌(いわゆる悪玉菌)が住んでいます。乳酸菌やビフィズス菌は糖質や食物繊維を餌にして生きる菌で、糖質をうまく処理して、有益に働きます。ウェルシュ菌、大腸菌等の腐敗菌はたんぱく質や脂質を餌にして生きる菌です。人は年をとると有益菌が減り、その結果、有害菌が増加します。若い人でも、食生活が偏っていると、腸内細菌のバランスが変化することがあります。



## 食物繊維とオリゴ糖

回答者 杉村病院 消化器科 井戸 泰徳 医師



減少したり抗生物質や下痢で死んでしまったります。腸内環境をうまく保つためには、意識的に、オリゴ糖や食物繊維を摂るようにしましょう。当院でもサプリメント「オリゴファイバー」を準備しています。

若葉が萌え出す爽やかな季節、それだけに新たな気持ちで新年を迎えられたことでしょうか。いつも明るい笑顔と爽やかな対応の受付の方々や受付奥の事務室でしっかりと病院事務を支える方々が、大切にしている思いを心に抱きながら仕事や生活に励んでいらっしゃることを感じさせて頂きました。様々な問題を抱えながら、めまぐるしく変化する社会や医療の制度に、病院には俊敏な対応が求められますが、私たち一般市民もきちんと対処できるように努力しなければならぬでしょう。折しも、統一地方選挙の真最中、選挙カーからの連呼の声に「一票の重さ」を感じながらの編集となりました。



伊藤 裕子

### 編集後記